

大軍拡・大增税に『資本論』視点でどう切り返し、跳ね返していくか？(ワンポイントより) 一緒に学んでゆきましょう。

前回の学習

・ワンポイント学習。大軍拡で見直されなければいけない財政のゆるみ。借金財政と異次元の金融緩和で、大企業と富裕層へと富の移転が進んでいる。(利子生み資本の原理)。

MMT 理論、債務は富一夫婦ポケット論は独立した私人関係を見ないごまかし。借金は返さなければならない。借金で経済を回すというのはケインズ理論のリニューアル議論。

・費用価格と利潤 $w=c+v+m$ の $(c+v)$ が一括され、資本家にとっては商品の現実費用・前貸しとして費用価格となる。これにともない、剰余価値は費用価格を超える超過分、いっさいの前貸し総資本の価値増加分として利潤という転化形態となる。

・利潤率。可変資本ではかられた m の率は剰余価値率。総資本ではかられた m の率は利潤率。

・資本のすべての成分(屑までも)が一様に超過利潤の源泉となる。労働力の価格は可変資本ではなく材料と同じ流動資本とされ、剰余価値の発生は神秘化する。不払い労働の搾取は費用の節約となる。これに対応し、提供された労働の対価「労賃」が人々の目に映る。

本日の学習 利潤論(2) 第2篇「利潤の平均利潤への転化」

本日のスケジュール

12:55~13:00 挨拶 資料確認

13:00~14:00 講義Ⅰ(60分)

14:10~15:10 講義Ⅱ(60分)

15:15~16:15 講義Ⅲ(60分)

16:25~16:55 自己紹介(30分)

16:55~17:00 片付け・終了

*第Ⅱ講義の後の休憩は5分間。

*第Ⅲ講義の後の休憩時間に質問・感想を文書でお出しください。後日文書回答。

次回 3/5(日)

会場：東京労働会館 地下会議室

学習 第10章～

会場(20分) zoom(10分) 1人2分以内

ご案内 第1巻講座 2/19(日) 13:00~17:00 代々木ふれあい会館
第5篇 第17章~21章

『D・K』を読む会 2/25(土) 13:00~17:00
東京八重洲地下 八重洲倶楽部 第7会議室 (zoomも。)
第1巻 第7篇 第24章「いわゆる本源的蓄積」第4~7節